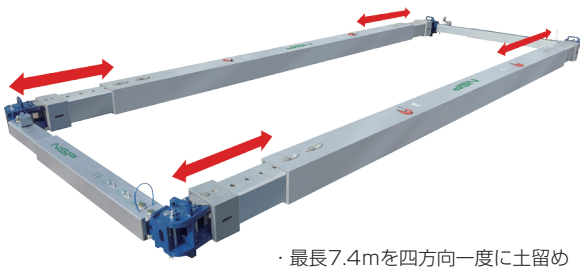
仮設材設置撤去工

水圧四面梁
四面梁４型腹起し 480-700

NETIS登録番号：（旧）CB-120037-VE

株式会社エヌ・エス・ピー

〒508-0101　岐阜県中津川市苗木9167
TEL 0573-67-2121　FAX 0573-67-2124
URL https://www.kknsp.jp/
［資料請求先］企画部（TEL.0573-67-2129、FAX.0573-67-2296）
［拠点］全国18営業所（札幌・盛岡・仙台・福島・つくば・埼玉・富山・静岡・安城・中部・大阪・広島・岡山・四国・福岡・佐賀・宮崎・沖縄）



・最長7.4mを四方向一度に土留め
・4.8～7.0mまでの伸縮式の腹起しとしても使用可能

四面梁4型腹起し480-700

施工例：四面梁として使用

四面同時に土留を設置

「四面梁４型腹起し 480-700」は、矢板設計の開削工事で使用する土留機材。腹起し材（アルミ腹起し）に切梁材を内蔵しており、四面（四方向）同時に土留を設置することができる。

従来の妻方向・桁方向別々に支保工を設置する手法と比べ、設置時の安全性向上が期待できるほか、開口面積に制約を受ける場所でも作業スペースを広く取れるというメリットがある。

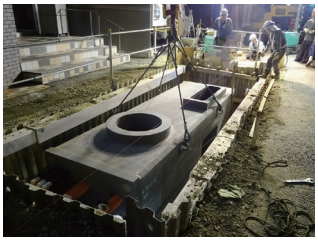
特　長

1．従来は別々だった切梁材と腹起し材を一体化（腹起し材に切梁材を内蔵）し、隅部四面から支保する構造としたことにより、作業性向上が期待できる。
2．妻・桁方向の段違い設置によるデッドゾーンがなくなり、作業スペースを広く取ることができるため、従来と同じ作業スペースを確保する場合に排土量が減少しコストの削減が期待できる。
3．支保工設置のための溶接が不要なので、溶接作業中の事故の心配がなくなる。

適用箇所

・電線共同溝工事、合併処理浄化槽設置工事、大口径長尺管の埋設工事、橋脚耐震工事、風力発電用風車基礎設置工事　等

長尺管埋設工事



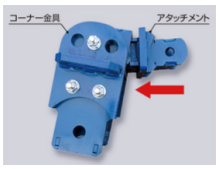
電線共同溝特殊部埋設工事

組立方法 4型×1～3型(シングル)

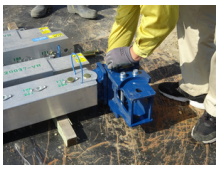
①四面梁4型腹起しを、開削寸法に応じた幅で番木の上に置く

②内腹起しを必要な長さまで引き出し、接続ピンで固定する

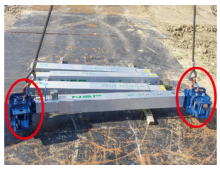
③内腹起し端部の外カバーを内側にスライドする



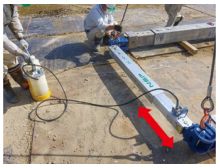
④コーナー金具本体とアタッチメントを組み立てる



⑤水圧四面梁に、④で組み立てたコーナー金具を組み付ける



⑥水圧四面梁の両端にコーナー金具を組み付けたら、コーナー金具の取手を使い吊り上げる



⑦四面梁4型に、水圧ハンドポンプで長さを調節しながら⑥を組み付ける

⑧四面梁4型の両端に水圧四面梁を組み付けて完成

製品仕様

用　途		腹起し	四面梁
規　格		480-700	
重　量		240kg	
ストローク		2,200㎜	2,000㎜
最短寸法		4,800㎜	5,360㎜
最長寸法		7,000㎜	7,470㎜
伸縮方法		嵌合式(50㎜ピッチ)	
機械的性質	材質	A6061S-T6	
	引張強さ	265N/㎟以上	
	耐力	245N/㎟以上	
腹起し寸法	外腹起し	縦212×横227㎜	
	内腹起し	縦187×横186㎜	
断面係数	外腹起し	839.3㎤	
	内腹起し	502.5㎤	